

共生社会システム学会ニュースレター

The Association for Kyosei Studies News letter

2023年12月25日発行 第33号

目 次

1. 学会事務局移転等についてのお知らせ	1
2. 2023年大会(宇都宮大学)の報告	1
3. 2024年大会(江戸川大学)の開催について	2
4. 2023年度臨時運営委員会 議事概要の報告	2
5. 2023年度第1回運営委員会 議事概要の報告	3
6. 『共生社会システム研究』編集委員会からのおしらせ	3
7. 学会内研究会について	4
8. 運営委員会事務局だより	4
9. 会費納入のお願い	4

1. 学会事務局移転等についてのお知らせ

このたび、学会設立時より長らく事務局を委託してきました農林統計出版が、会社を閉じられることとなりました。これに伴い、学会事務局を下記に臨時移転しております。

今後しばらくの間,お問い合わせは、下記の住所又はメールアドレスまでお願い致します。

- ・住所:〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 東京農工大学農学部 環境教育学研究室(朝岡研究室)気付 共生社会システム学会事務局
- ・メールアドレス: kyosei.syakai.gakkai@gmail.com

なお、今後の学会誌の発行形態については現在検討中です。追ってご連絡いたします。

2. 2023 年度大会(宇都宮大学)の報告

2023年度共生社会システム学会大会は、2023年9月16日(土曜)、17日(日曜)に、宇都宮大学農学部(峰キャンパス)にて、対面で開催されました。

新型コロナウィルス感染症については、以下の対策を講じました。

- ・会場の換気に気をつけて開催。
- ・大会受付にマスクを準備。
- 消毒液を会場入口に準備。

16日の大会シンポジウム「ポスト福祉国家とサードセクターを考える―社会的事業体の新たな可能性―」は以下の方々にご報告いただき、活発な議論が行われました。

座長:柏雅之(早稲田大学), 古沢広祐(國學院大學客員教授)

第1報告:「ポスト・ケインズ型福祉国家におけるサードセクターの存在意義」

報告者:向井清史(名古屋市立大学名誉教授)

コメンテイター: 古沢広祐(國學院大學客員教授)

第2報告:「日本の農山村再生と社会的企業」

報告者: 呉鳶(愛国学園大学)

コメンテイター:矢口芳生(福知山公立大学名誉教授)

第3報告:「脱炭素・環境共生社会とサードセクター―スウェーデン・スコーネ州と栃木県の

事例比較から―」

報告者:髙橋若菜(宇都宮大学)

コメンテイター:林田朋幸(帝京大学)

17日の個別報告は21件の発表があり(1件欠席),また学会内研究会ワークショップとして,「動物園と動物園法・博物館法を巡って」(「人と動物の共生」研究会),「共生社会の形成に資する地域振興・地域コミュニティ再生のあり方」(共生社会研究会)が開かれました。

大会に合わせて理事会と学会総会が開催され、以下の議事事項について、いずれも出席者の賛成多数によって承認されました。

- (1) 2022 年度事業報告
- (2) 2022 年度決算報告
- (3) 2022 年度決算の監査報告
- (4) 2023 年度事業計画
- (5) 2023 年度予算

今大会は3年ぶりの対面での開催となり、シンポジウムのほか、4会場を占める多数の個別報告、学会内研究会ワークショップなど、盛況のうちに終えることができました。

3. 2024 年大会(江戸川大学)の開催について(第1報)

2024年大会は江戸川大学(千葉県流山市)にて対面にて開催いたします。 開催は9月半ばを予定しています。具体的な日程・テーマ等は追ってお知らせいたします。 会員各位の積極的なご参加をお願いします。

4. 2023 年度臨時運営委員会 議事概要の報告

宇都宮大学での大会後、以下の日程で臨時の運営委員会を開催しました。

日時: 2023年10月29日(日),11月12日(日),11月25日(土)

場所:オンライン

議題:逝去された亀山名誉会員のご葬儀への対応,学会事務局の移転・メールアドレスの変更,学会誌のJ-STAGEへの掲載および今後の発行形態,2023年度の定例運営委員会の開催と2024年大会実行委員会について,その他

5.2023年度第1回運営委員会 議事概要の報告

2023年度第1回運営委員会が下記の日程で開催されました。 (本学会では大会開催時を事業における年度の切れ目としております。)

日時: 2023年12月19日(火) 19:00~20:15

場所:オンライン

出席者(敬称略):朝岡,オプヒュルス鹿島,岡野,安藤,稲村,松木,佐藤(江戸川大学

/前半のみ)桑原

欠席者(敬称略):植木,柏,武谷

報告事項:

(1) 事務局の移転について

- (2) 2023年度宇都宮大会報告
- (3) 入退会

2023年9月1日~12月1日の期間の入会申込者は4名(正会員3名,学生会員1名),退会者は0名,逝去は1名(亀山純生名誉会員)であった。

2) 編集委員会報告

18巻の構成見込みと審査状況の確認を行った。

亀山純生名誉会員の追悼文を掲載することとした。

審議事項:

1) 2024年度大会について

日程の候補、交通手段等について、開催校の佐藤秀樹会員と打ち合わせを行った。

- 2) 学会誌の発行形態/J-STAGEへの対応について まずは第18巻についての方針を決め、理事会に諮ることとした。
- ニュースレターについて 次年度大会の予定や編集委員会報告等を掲載することとした。
- 4) その他

2025年度大会,2026年の20周年企画,2027年度大会について検討を行った。

5) 次回運営委員会の日程について 3月頃開催で調整することとした。

6. 『共生社会システム研究』編集委員会からのおしらせ

現在,『共生社会システム研究』第18巻は,2024年9月の発行を目指して論文審査・編集を進めています。第19巻への投稿については次号のニュースレターでアナウンスをする予定です。

7. 学会内研究会について

会員の日常的な研究・交流活動を支援する目的で、会員が運営している研究会を、「共生社会システム学会内研究会」として承認・支援しています。詳細は学会ウェブサイトの「研究会」のページをご覧ください。

※共生社会研究会では宇都宮大会において学会内研究会ワークショップとして報告した「共生 社会の形成に資する地域振興・地域コミュニティ再生のあり方」をさらに充実させるべく書籍 化を視野に研究会を継続しています。関心のある会員諸氏は是非研究会にご参加下さい。 共生社会研究会 世話人 武谷嘉之

8. 運営委員会事務局だより

さる 10 月 28 日に、本学会名誉会員の亀山純生先生が逝去されました。倫理学の立場から当学会の共生の理念を支える大きな役割を果たされていたことは、特に 10 周年記念の際の書籍・シンポジウムを通じて多くの方がご存じのことと思います。心よりお悼みするとともに、亀山先生の幅広く深い視座を学会内で受け継いでいきたいと思います。

このたび、学会設立時より学会誌の発行と事務窓口を委託してきた農林統計出版が廃業されることとなりました。いつかは来る日とは思っていましたが、突然のことに急ぎ運営委員会で対応を進めております。学会誌については、以前より準備を進めている J-STAGE への掲載を含め、必ず何らかの形で発行を継続していきますので、どうかご安心ください。

※事務局では会員の皆様からのニュースレター原稿を募集しています。会員の活動紹介や、会員が執筆・翻訳した著書・論文の紹介等も歓迎します。詳細は運営委員長の岡野までお問い合わせください。E-mail: i-okano \Leftrightarrow cc.tuat.ac.jp (\Leftrightarrow を@に変更)

9. 会費納入のお願い

2023 年度会費の納入をお願いいたします。会費は、一般会員 6,000 円、学生会員 3,000 円、賛助会員 20,000 円となっております。 2022 年度以前の会費を未納の方は、未納分も含めて納入をお願いいたします。

また、住所、所属先、メールアドレスに変更がある場合は、連絡をお願いいたします。

共生社会システム学会ニュースレター 第33号 2023年12月25日発行 編集·発行 共生社会システム学会運営委員会事務局

連絡先 〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 東京農工大学農学部 環境教育学研究室(朝岡研究室)気付

メールアドレス: kyosei.syakai.gakkai@gmail.com

郵便振替 00130-6-372850 (加入者名)共生社会システム学会